

## 平成29年度第7回教育研究評議会議事要旨

日時 平成29年11月20日(月) 14時37分～15時49分  
場所 大学本部2階大会議室  
出席者 宮崎学長，後藤理事，兒玉理事，寺本理事，和田理事，田中教育学部長，小坂芸術地域デザイン学部長，原医学部長，渡工学系研究科長，有馬農学部長，早瀬副学長・全学教育機構長，米山附属図書館長，山下医学部附属病院長，宮武地域学歴史文化研究センター長，都築評議員，荒木評議員，岩本評議員，倉岡評議員，後藤評議員，大島評議員  
欠席者 中村経済学部長  
陪席者 佐々木監事，荒木ダイバーシティ推進室副室長

- 議事に先立ち，平成29年度「科研費」審査委員表彰が行われた。

学長から，本日の審議事項は7件，報告事項は5件を予定している旨，報告があった。

- 審議事項

1. 審議事項（非公開）

2. 審議事項（非公開）

3. 教育研究院，学域・学系の運営体制及び教員選考の在り方について

学長から，本件について，教教分離に向けた教育研究院，学域・学系の運営体制及び教員選考の在り方について意見を伺うものである旨の説明があった。

次いで，企画評価課長から，新たな教員組織である教育研究院の組織体制，会議及び所属等，学域・学系等長及び教員採用の選考等，規程の改正案等についての説明があり，審議の結果了承された。

学長から，意見がある場合は，12月6日(水)までに出していただき，次回の教育研究評議会でも再度審議する旨の説明があった。

後藤理事から，教員選考の流れについて，最短で3か月ほどかかる旨及び事務組織の大幅な変更はない旨の説明があった。

4. 審議事項（非公開）

5. 国立大学法人佐賀大学契約職員就業規則等の一部改正について

学長から，本件について，医学部附属病院食育指導センターに優秀な調理師を確保することにより，更なる患者サービスの充実を図るため，契約調理師の職種を新設するものである旨の説明があった。

次いで，医学部事務部長から，調理師は非常勤職員の身分であるため優秀な人

材が応募してこないのが現状であり、ほぼ常勤職員と同じ待遇である契約職員の職種を新設することで処遇改善を図り、優秀な人材を確保するために規程改正を行う旨の説明があった。平成29年11月22日(水)の役員会で審議決定の上、学長制定された後に平成30年1月1日(月)から施行する予定である旨、また、規則等の一部改正の内容についての説明があり、審議の結果了承された。

#### 6. 寄附講座の設置(更新)について

学長から、本件について、京セラ株式会社から、寄附講座「人工関節学講座」の設置について更新の申込みがあったものである旨の発言があった。

次いで、寺本理事から、当該寄附講座更新について概要等の説明があり、審議の結果了承された。

#### 7. 株式会社佐賀銀行及び株式会社佐銀キャピタル&コンサルティングとの産学金連携推進協定の締結について

学長から、本件について、地域の産学金連携を推進し、企業及び地域社会の発展に貢献することを目的として本協定を締結するものである旨の説明があった。

次いで、寺本理事から、本協定締結までの経緯、今後のスケジュール等について説明があった。また、過去の協定締結後の活動が活発ではなかったことの反省を生かし、月に1回情報交換等を行う予定である旨の説明があり、審議の結果了承された。

#### 8. その他

特になし。

#### ○ 報告事項

##### 1. 平成29年度第一次国立大学法人佐賀大学補正予算について

財務部長から、本件について、平成29年10月25日役員会で決定された旨、編成基本方針について、平成28年度において学内予算にて立替を行った退職手当の精算、平成28年度実績を踏まえた平成29年度部局配分額の調整など、予算執行上の諸課題に対応するなど、平成29事業年度予算に関する支出予算の補正を行うものであり、捻出できた財源については、次年度以降、経費節減に寄与する事業費等に充当する旨、補正予算の追加財源が136百万円である旨の説明があった。

##### 2. 平成29年度前学期実施の全学統一英語能力テスト(TOEIC)に関する分析結果について

兒玉理事から、昨年度と比較して、全体の平均点が上昇しており英語力の上昇が見てとれる旨、また、得点が大きく上昇した教育学部及び理工学部は入試志願者数減により受験者層が変化しているため、入試成績と今回の結果を踏まえた入学者層の分析が必要である旨の説明があった。

3. 第1回ダイバーシティ推進講演会（キックオフミーティング）の開催について  
荒木ダイバーシティ推進室副室長から、本件について、平成30年1月19日（金）に役員及び部局長等を対象としたものを同日15時30分開催予定の教育研究評議会の中で、全学教職員を対象としたものを16時10分から開催予定である旨、チラシ等ができ次第、大学運営連絡会、事務連絡会議等で積極的な参加を呼びかける旨の報告があった。

4. ダイバーシティ推進にかかる実態調査の実施について

荒木ダイバーシティ推進室副室長から、学部ごとの女性研究者新規採用割合の目標値を平成32年度までに速やかに達成することになっているため、該当する部局長等には一層の躍進をしていただきたい旨の発言があった。また、女性教員の増加、研究力の向上に向けてダイバーシティ推進室でも、講演会の開催や女性研究者・研究補助員雇用、次世代に向けたロールモデル集の作成等に取り組んでいる旨、佐賀大学における教職員の最新の実態や大学からの支援の要望を把握し、課題を抽出するため、11月27日（月）～12月22日（金）にOffice365を用いた全教職員対象の実態調査を実施する旨の説明があった。

学長から、農学部の女性研究者新規採用割合の目標値は高いが、ほかの大学は達成しているところが多いため本学も頑張っていたいただきたい旨の発言があった。

5. 全学委員会等の審議状況報告について

後藤理事から、拡大役員懇談会において、「国立教員養成大学・学部、大学院、附属学校の改革に関する有識者会議」の方針を踏まえた教育学部の在り方等について、全学教育機構の改革について、肥前セラミック研究センターのロードマップについて、教育研究院、学域・学系の運営体制及び教員選考の在り方について議論した旨の報告があった。

寺本理事から、9月25日（月）に総合研究戦略会議を実施し、佐賀大学エスタブリッシュド・フェロー候補者の選考等について協議した旨の報告があった。

6. その他

特になし。

○ その他

学長から、教育研究院、学域・学系の運営体制及び教員選考の在り方について、次回が最終の審議になるため意見があればその時に出していただきたい旨の発言があった。

以上